

Press Release

株式会社 アルバイトタイムス



2025年4月10日

各 位

会 社 名 株式会社アルバイトタイムス
代表者名 代表取締役社長 堀田 欣弘
(コード2341 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役コーポレート本部長 金子 章裕
電話 03-5524-8725

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2025年4月10日開催の取締役会において、2026年2月期を初年度とし、2028年2月期までの3カ年を計画期間とする中期経営計画について決議いたしましたのでお知らせいたします。本中期経営計画の詳細につきましては添付資料をご参照ください。

以 上

株式会社アルバイトタイムス中期経営計画

(2026年2月期～2028年2月期 3か年計画)

2025年4月10日

取締役会決議

株式会社アルバイトタイムス



中期経営計画建付け

グループ中期経営計画

基本方針	パーパス	当社の存在意義
	経営理念	事業を遂行する上での根本の考え方・道理・拠り所
	サステナビリティ	グループの持続可能性についての考え方
	ミッション	グループの存在意義
	ビジョン	3年後のグループの姿・目標
	行動指針	事業活動を行う中で従業員の規範となる行いを定めたもの
コーポレート・ガバナンス他		
基本戦略	成長戦略	グループ戦略
		事業戦略
		人事組織戦略
		情報戦略
		業務変革戦略
		M&A戦略
	利益計画他	3年後の量的指標の揭示（連結）
	資本政策	株主還元施策・投資戦略



**主力の人材ビジネスにおいて、雇用を創出し、
求職者に有益な情報を提供することや
地域社会にとって有益で
人々の心を豊かにするような
商品サービスを提供していくこと**

基本方針

中期経営計画

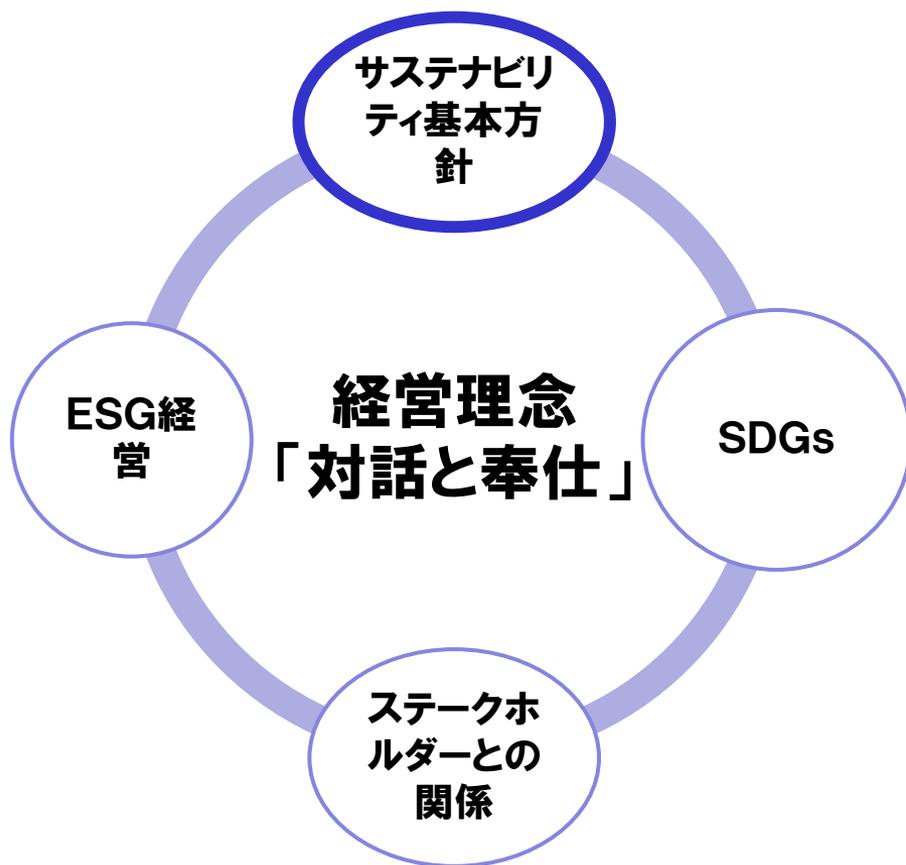
基本方針	経営理念	対話と奉仕 私たちの活動の始点是对話であり、対話によって得られた信頼をもとに価値を持続的にステークホルダーとともに共有することが奉仕である。
	サステナビリティ	企業市民としての責任を果たす。 ～ステークホルダーとの対話に基づき信頼関係を構築し 事業活動を通じて新しい価値を創造し社会に奉仕する～
	ミッション	社会・社員・顧客に対して 働き方やライフスタイルをより豊かにする提案を通じて、 地域社会の発展に貢献する。
	ビジョン	市場競争力の強化、リソースの共有を目的としたアライアンスなどの多様な手法により 新たなビジネスモデルを構築することで持続的成長性と収益性を高める。
	行動指針	【タイムスピリッツ】 どんな時も失敗を恐れないチャレンジ精神 【タイムアクション】 話をしよう・提案しよう・実行しよう



Sustainability Policy

当社グループのサステナビリティ基本方針は、経営理念である「対話と奉仕」に基づき、社会とどう関わりを持ち、どんな使命感とともに社会に存在するか、経営活動の基本姿勢を表明したものです。

■各種方針との関係



■当社のサステナビリティ基本方針

1

企業市民としての責任を果たす

企業市民とは「企業は利益を追求する以前に良き市民であるべきである」という考え方のもと、地域においての市民であるという自覚を持ち、地域における活動を果たしていきます。

2

ステークホルダーとの対話に基づき
信頼関係を構築する

経営理念に基づき、ステークホルダー（お客様、協力会社、株主・投資家、社員など）と対話に基づいて信頼関係を構築していきます。

3

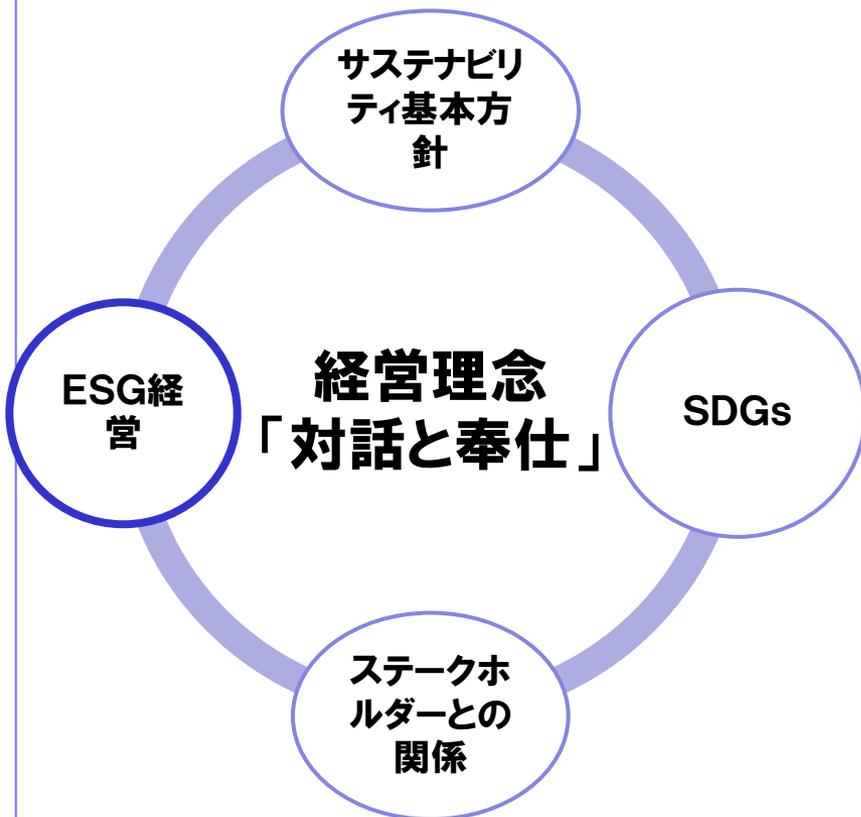
事業活動を通じて新しい価値を創造し
社会に奉仕する



ESG経営

当社はサステナビリティ基本方針に則り、当グループはESG経営の視点を基に、企業市民としての責任を果たします。

■各種方針との関係



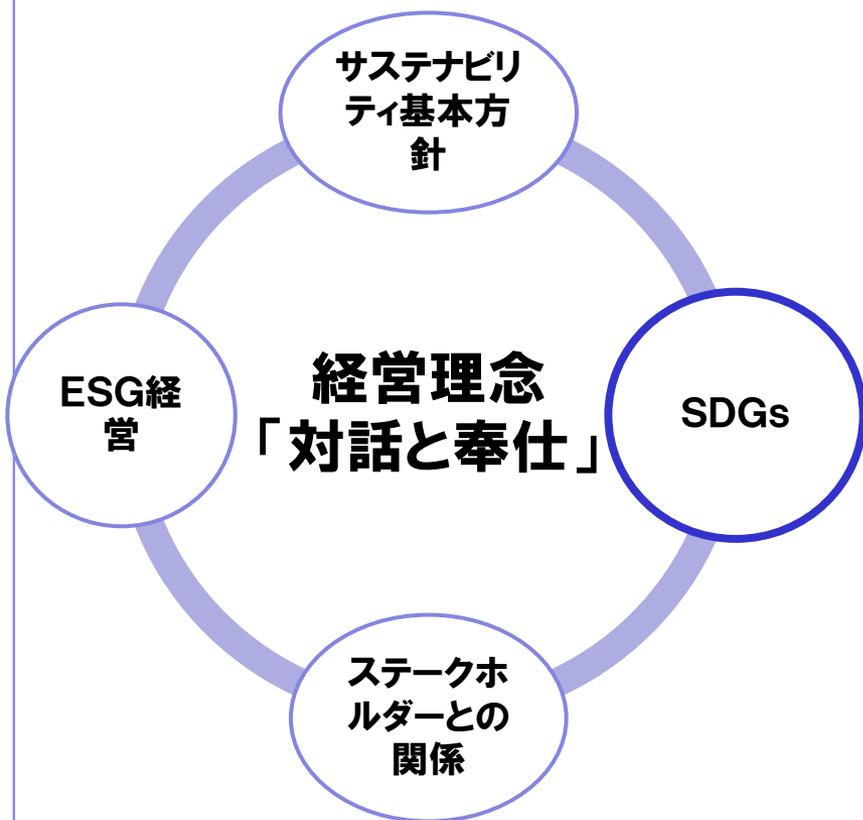
■ESG方針

Environment 環境	エネルギー効率の向上 (ペーパーレス化・節電) 循環型社会の構築 (3Rの促進) 従業員への意識啓発 (意識啓発・ボランティア)
Social 社会	人権の尊重 (人権・ハラスメント) 品質管理 (求人広告の品質管理) 労働安全衛生 (交通事故・健康経営) ダイバーシティ (多様性・価値観・働き方 改革・ワークライフバランス・女性活躍・人 材活用)
Governance 企業統治	コーポレートガバナンス 内部統制 コンプライアンス リスクマネジメント

SDGs

サステナビリティ基本方針に則り、当グループはSDGsの下記5つを重点に活動してまいります。

■各種方針との関係

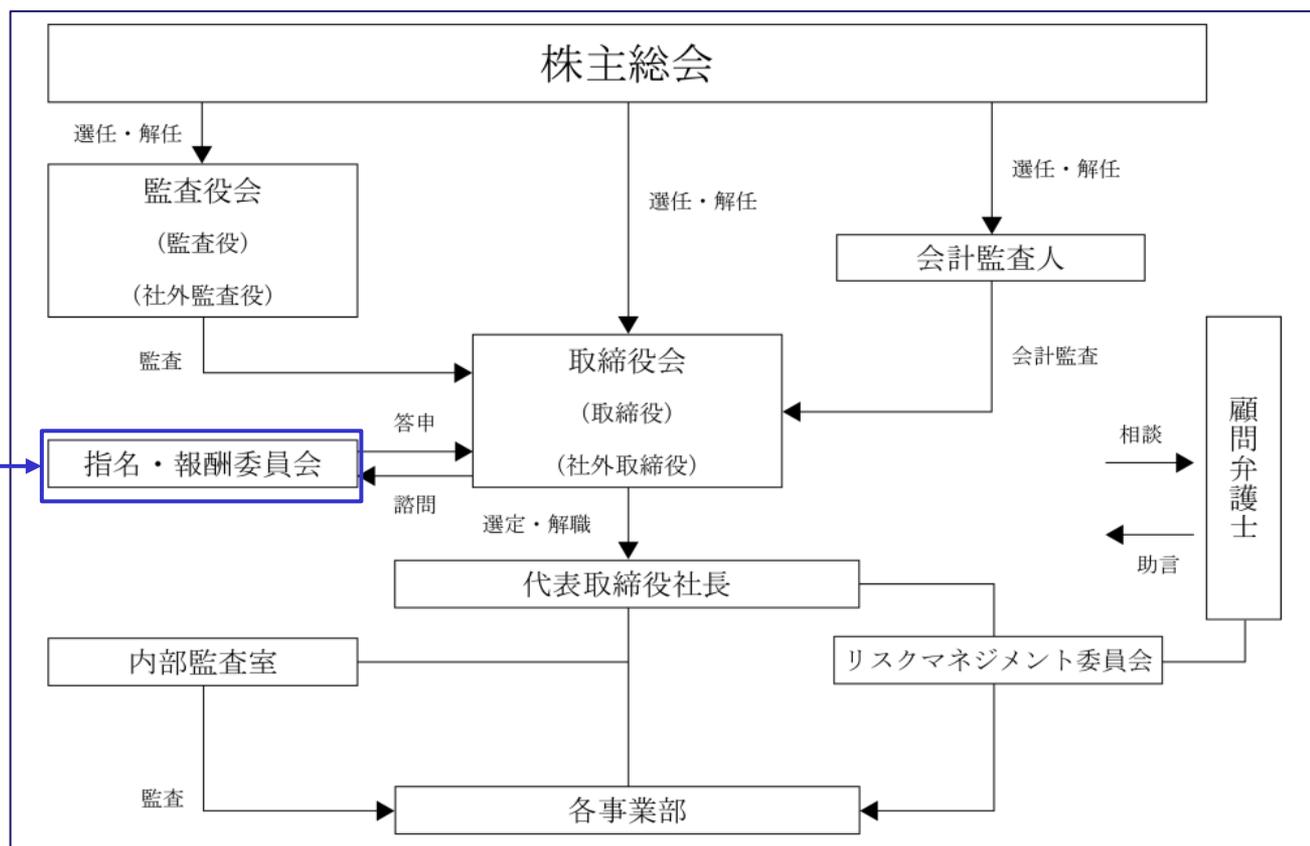


■SDGs5つの目標に注力

4 質の高い教育をみんなに	教育事業で機会を提供することや社員教育への投資をします
5 ジェンダー平等を実現しよう	全ての従業員の人権・人格・個性を尊重します
8 働きがいも経済成長も	働き方改革やITの活用により、労働生産性を高めつつ仕事と生活を両立する取り組みを実施します
10 人や国の不平等をなくそう	外国人材採用支援事業を中心に就業機会の提供をします
11 住み続けられるまちづくりを	事業活動を通じて新しいシゴトやライフスタイルを提案し、地域発展へとつなげます

コーポレート・ガバナンス体制

当社は監査役会設置会社であり、取締役会が単なる決済機能としてではなく、会社の業務執行における意思決定機能を有し、各取締役による代表取締役の職務執行の監督を含む相互の牽制機能の強化が図れる体制です。



また、取締役の指名・報酬等に関する手続きの健全性と透明性を担保するため、取締役会の諮問機関として任意の指名・報酬委員会を設置しております。

グループ基本戦略 成長戦略（グループ戦略）

グループ中期経営計画

基本戦略

成長戦略

基本方針の共有

タイムスグループを構成する各社は基本方針を共有する。

グループ各社の自立

タイムスグループを構成する各社は事業ドメインにおいて持続的成長をする経営基盤を確立した経営を行う。

グループ各社のシナジー最大化

顧客・求職者・生活者ニーズにこたえるために、
グループ全体の経営資源を最大活用するために
グループでの顧客の一元管理による機会損失の軽減を進める。



グループ基本戦略 成長戦略（事業戦略1）

グループ中期経営計画

基本戦略

成長戦略

**人材事業は市場成長性と収益性の高い分野へ集中し、
トライアンドエラーのスピード感を高め、挑戦を行う**
求人広告メディアを活かしつつ、
HRテック、RPO、IT教育と外国人材採用・就労支援を
組み合わせたサービスへ集中すると同時に
グループ資産(顧客と求職者)を活用し事業展開する。

持続的成長に向けた挑戦並びに経営基盤の整備

グループリソース・外部リソースを活用した
R&Dを含む事業展開を促進し、
それに対応した経営基盤を整備する。

人材事業にシナジーのある領域への挑戦

人材採用だけでなく定着促進・教育－戦力化などへ挑戦する。



グループ基本戦略 成長戦略（事業戦略2）

グループ中期経営計画

基本戦略

成長戦略

ターゲット人材のロイヤリティ向上

メディア事業は求職者とのタッチポイントと捉えコンテンツ増加並びに求職者へナーチャリングを実施していくことでターゲット人材のロイヤリティを向上させる。
特に今後需要が見込まれる主婦・主夫・外国人やフリーランス・在宅ワーカー等の活用を検討していく。

エリア展開構想

HRテック事業は東名阪以西を主とし
その他地方政令指定都市をカバーする。
IT人材教育サービスは首都圏をターゲットエリアとする。

顧客ターゲットとグループ優位性

中堅中小企業並びにベンチャー企業をメインターゲットとし、サービスにおいては競合との優位性を維持する。



グループ基本戦略 成長戦略（人事組織戦略）

グループ中期経営計画

基本戦略

成長戦略

熱量ある風土の醸成

組織に好影響を与える変化・挑戦を楽しみ、
失敗を恐れずチャレンジできる風土を醸成する。

自律人材(業務の目的や意義を理解して自分の意思で 臨機応変に行動できる人材)の創出

組織活性化力・事業変革力・推進力を高め、
「採用」、「報酬」、「育成」、「評価」、「配置」、「代謝」の
サイクルを回し、自律人材を創出する。

人的資本の充実を目的とした人材育成と環境整備

人権の尊重・健康経営の推進・多様性と価値観の尊重
ワークライフバランスの推進・女性活躍の推進などに向けた
環境の整備を行う。



グループ基本戦略 成長戦略（情報戦略）

グループ中期経営計画

基本戦略

成長戦略

グループ顧客の活用を目的としたCRMを構築する。

新システムの活用並びに体制構築により
グループ顧客のウォレットシェアを向上させる。

情報資産の適正な管理体制を構築する。

顧客情報、求職者情報や自社のノウハウといった
情報資産を、有効に活用できる状態にしながら、
外部から保護して流出を防ぐ。



グループ基本戦略 成長戦略（業務変革戦略）

グループ中期経営計画

基本戦略

成長戦略

新システムの活用並びに体制構築による 業務生産性の向上

ビジネスプロセスにおけるコア業務とノンコア業務の精査や業務ソリューションシステム並びに体制を構築することで業務生産性を向上させ、同時に業務の圧縮・改廃・取捨選択を推進し、コア業務に集中する。

DXによる価値創造

技術やデータの活用によりビジネスモデルや収益モデルを変革し、付加価値を生む領域へリソースを集中させ、業務のクオリティや組織能力を高めると同時にAI活用に向けた研究を進めることで労働集約型モデルから変革し、競争優位性を高める。

ITリテラシー並びにユーザビリティの向上

IT教育の推進やAIの活用に向けた研究、ユーザビリティの向上により、ユーザーがシステムを最大限に活用できる環境を構築し、自社の成長分野をよりストレッチさせるためリソースの再編成を図る。



グループ基本戦略 成長戦略 (M&A戦略)

グループ中期経営計画

基本戦略

成長戦略

外部経営資源の活用

RPO・IT人材教育事業・外国人採用支援事業を
M&Aや業務提携、資本提携の対象とし、
外部経営資源を活用し、事業展開スピードを高める。

活動スピードの向上

M&A委員会が主体となり、活動していくものの
担当役員の判断により
スピード重視で推進して行く。



グループ中期経営計画

基本戦略

利益計画他

■グループ利益計画

2028年 2月期	売上高	5,472百万円
	営業利益	450百万円
	営業利益率	8.2%

■人的資本を基本とした環境整備(ダイバーシティ)

女性管理職比率

2028年

目標 25%

実績 23.1%

男女間の賃金格差

2028年

目標 80%

実績 75.6%

男性育休取得率

2027年

(目標値の再考と再設定を検討のため2年後目標)

目標 10%

実績 —

※「指標及び目標」につきましては、当社グループにおける記載が困難であることから、当社単体で記載しています。
※実績は、2025年2月期末時点数値です。
※男性育休取得ですが、2025年2月期は対象者がおりませんでした。



グループ基本戦略 資本政策

グループ中期経営計画

基本戦略

資本政策

株主還元

配当方針はは配当性向50%を目途に、現預金の状況、株式市場の状況や、業績計画などに基づいて総合的に判断し自己株式の消却等による株主還元の充実を図る。

将来に向けた成長投資の継続

将来利益創出のための投資を積極的に行い、自己資本拡大のサイクルを確立する。

財務健全性の維持

自己資本比率80%を指標に、財務の健全性を維持するものの、状況に応じ、成長投資を優先する。

資本コストを意識した経営

自己株式の有効活用(従業員還元・株主還元など)や純資産の有効活用(市場成長性と収益性の高い事業への投資や株主還元の充実)などにより 資本効率並びに収益性を改善することでPER・PBRを向上させる。



中期財務戦略及び3か年予算



連結3カ年財務計画サマリー

連結数値目標

3年後 増収額13.1億円、増益額3.8億円、営業利益率8.2%を目指します

売上高

2025年2月期

4,160 百万円



2028年2月期(目標)

5,472 百万
円

(13.1億円増)

営業利益

2025年2月期

68 百万円



2028年2月期(目標)

450
百万円

(3.8億円増)

営業利益率

2025年2月期

1.6 %



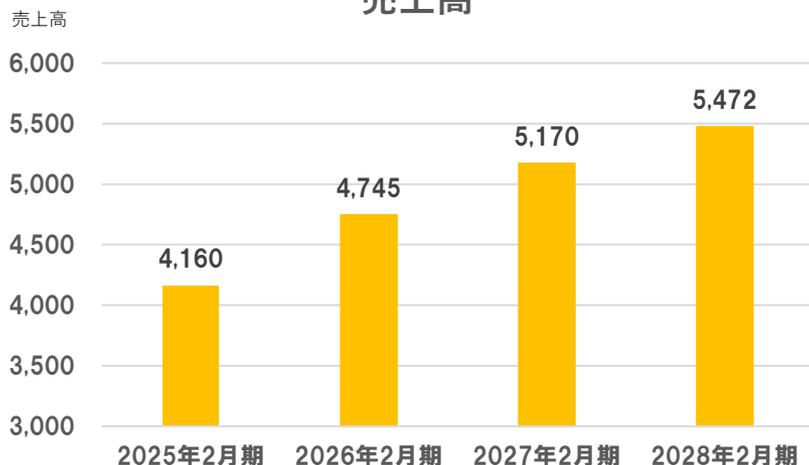
2028年2月期(目標)

8.2 %

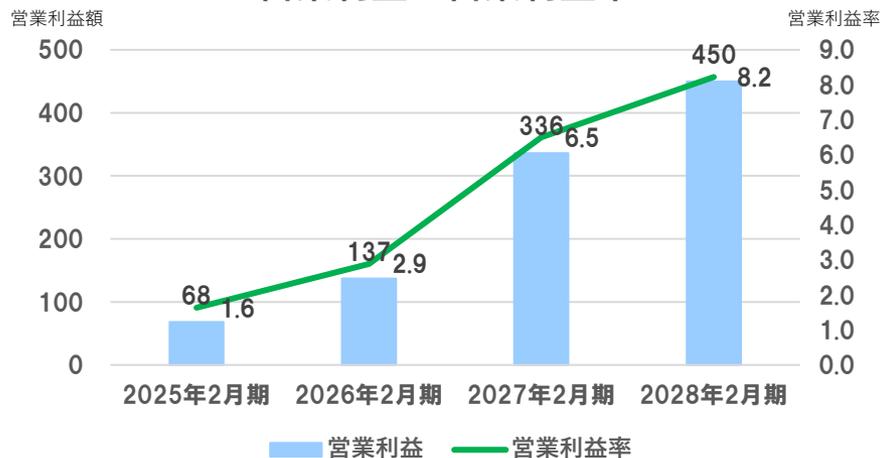


連結3カ年財務予算

売上高



営業利益と営業利益率



(単位：百万円)	2025年 2月期	2026年 2月期	2027年 2月期	2028年 2月期
売上高	4,160	4,745	5,170	5,472
売上原価	1,262	1,495	1,657	1,806
売上 総利益	2,898	3,249	3,513	3,665
販管費	2,829	3,112	3,176	3,215
営業利益	68	137	336	450
営業 利益率 (%)	1.6	2.9	6.5	8.2



株式会社 アルバイトタイムス



Mail: ir@atimes.co.jp URL: <https://www.atimes.co.jp/>

免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ（株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社；以下「当社グループ」）の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。また、本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘するものではありません。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。